

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

人にやさしい家

グループの名称

人にやさしい家を考える会

直近採択グループ番号

04-0176-0674

(グループ代表者)

代表者名

徳永 安秀

代表者印

代表者所属先

徳永産業有限会社

代表者所在地

福岡県みやま市瀬高町長田2003-1

代表者電話番号

0944-63-7332

(グループ事務局)

事務局事業者名

徳永産業有限会社

事務局担当者名

境 美保

印

事務局郵便番号

835-0007

事務局所在地

福岡県みやま市瀬高町長田2003-1

事務局電話番号

0944-63-7331

事務局FAX

0944-63-7918

事務局担当者E-mail

support@tokunagasangyou.com

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		14	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	14	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
		申請が未確定(上限100万円)		10	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	10	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		3	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
		申請が未確定(上限100万円)		17	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	17	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		2	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
		申請が未確定(上限100万円)		8	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	8	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)		1	戸
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸
申請が未確定(上限100万円)		5	戸		
加算申請		上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	5	戸	
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)		1	戸	
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸	
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
	申請が未確定(上限150万円)		0	戸	
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	0	戸	
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)		7	戸	
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	7	戸	
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
	申請が未確定(上限165万円)		10	戸	
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	10	戸	
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)	0	戸	
C. 平成29年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	0棟	/	
			0㎡		
		申請が未確定	0棟		
			0㎡		
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	補助金の有効利用を目的としつつ早期消化を目指して、長期優良住宅やゼロエネ住宅の供給実績のない工務店や、すでに受注している工務店へ優先的に配分していく。				
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)				
	当初予算	採択戸数	15戸	交付申請戸数	13戸 完了実績(竣工予定含む)戸数 13戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸 完了実績(竣工予定含む)戸数 0戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)				
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸 完了実績(竣工予定含む)戸数 1戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸 完了実績(竣工予定含む)戸数 0戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)				
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸 完了実績(竣工予定含む)戸数 1戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸 完了実績(竣工予定含む)戸数 0戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)				
	当初予算	採択戸数	4戸	交付申請戸数	4戸 完了実績(竣工予定含む)戸数 4戸
	補正予算	採択戸数	0戸	交付申請戸数	0戸 完了実績(竣工予定含む)戸数 0戸
優良建築物型					
当初予算	採択棟数	0棟	交付申請戸数	0棟 完了実績(竣工予定含む)棟数 0戸	
当初予算	採択床面積	0㎡	交付申請床面積	0㎡ 完了実績(竣工予定含む)床面積 0㎡	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 人にやさしい家	(地域型住宅供給対象地域) 九州全域
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 人にやさしい家を考える会	(結成年) 2015 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0176-0674	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	温暖な気候と見られがちな九州は、全国でもヒートショックでの死亡率が高い地方である。高齢者に配慮した断熱性能の優れた建材を使用する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	南筑後地区、及び熊本北部地区は、夏季において南西の位置にある有明海側から風が吹く。この卓越風を利用し、風配図の取り入れを強化して、窓の性能を重要視した設計プランをできるだけ提案する。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	南筑後地区は、山、海、川、平野に恵まれ、あらゆる自然景観を楽しむことができる。立地場所やその周辺環境に同化した街づくりを目指す努力を行う。	○
④①～③の背景	長寿命型住宅の実現。建築学と医学の連携における健康住宅の推進。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	健康を害する湿気(カビ)の原因を軽減するため、調湿性のある製品(木質系自然素材)をできる限り使用する。	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	105角から120角への標準化を進める。	
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容:	○
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容:	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容:	○
②-1 建材・資材調達共同化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容:	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容:	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容:	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容:	○
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容:	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容:	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容:	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容:	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	主要構造材に九州の風土に合った、地産材のヒノキ材やスギ材を使用する。	○


※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 人にやさしい家	(地域型住宅供給対象地域) 九州全域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 人にやさしい家を考える会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0176-0674	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備			
【平成29年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 住宅履歴情報の蓄積		
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: JBNの住宅履歴管理 いえもりかての利用	◎
	①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ハウスプラスによるアフターメンテナンスサービスにより、維持管理時期に案内する。	◎
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループの定期集会においてアンケートを行い確認する。	◎
	② マンテナンス基準の整備		
	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 30年間の維持管理計画書を作成し実施。	◎
	②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 図面や写真及び目視において的確に補修を行う。	◎
	②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループの定期集会においてアンケートを行い確認する。	○
	③ 住まいの管理		
	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループで管理や使い方の勉強を定期的に行う。	◎
	③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅の引き渡し時に、住まいの管理とお手入れが重要であることを理解して貰い、使い方の説明をする。	◎
	③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 見学会や内覧会により、管理やお手入れの重要性を紹介する。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の検討委員会において、施工業者の選定をし、消費者に紹介する。	○
	⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ハウスプラス アフター点検サービスを利用。	○
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内の検討委員会において、施工業者の選定をし、消費者に紹介する。	◎
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良化リフォーム推進事業の実施において、事前に劣化対策や維持保全について勉強会を行う。	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		○
グループの長期維持管理体制における取り組みで、維持保全計画書の提出を義務化する。			
エ. グループの技術力の向上			
【平成29年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループで定期的な研修会を行い、JBNとの連携で長期優良住宅の実践に取り組む。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: JBNのいえもりかてを利用する。	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 定期集会を行い、会員の指導にあたる。	○
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 見学会や構造内覧会の積極的なアプローチを行う。	◎
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年に4回から5回、定期的な住宅に関わる様々な研修を行う。	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ会員の連携において、情報の共有化の強化に努める。	◎
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 48 今年度の参加目標人数 30	◎
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 22 今年度の参加目標人数 20	◎
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 年に4回から5回、定期的な集会やアンケートを行い、参加人数を把握する。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 地域に適した提案と取り組み。風配図を利用し、サッシを有効的に使う。	○
	② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 植樹による夏場の日射取得の現象に対する検証を行う。	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		◎
グループでの大工技術の継承及び向上セミナーの開催。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 人にやさしい家	(地域型住宅供給対象地域) 九州全域	
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 人にやさしい家を考える会	(結成年) 2015年	
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0176-0674		
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。			
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与			
【平成29年度対応方針】			
a	地域材利用に関する ① 共通 ルール(必須)	主要構造材(土台・柱・梁・桁)の50%以上に合法木材を使用する。	◎、○ 記入欄
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	■ 50%未満 □ 50%以上 □ 80%以上	
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	土台: □ 使用していない ■ 使用している 柱: □ 使用していない ■ 使用している 梁・桁等の横架材等: □ 使用していない ■ 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: ■ 使用していない □ 使用している 造作材 枠材、廻縁等: ■ 使用していない □ 使用している 板材 壁板、床板等: ■ 使用していない □ 使用している	◎
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	関連事業者の連携体制の構築 	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない ■ ある → 内容: 弊社は材木店であり、仕入帳において明確に把握できる。	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない ■ ある → 内容: 全国工務店協会JBNまた全木協が主催する研修会に参加し、木材に関する様々な情報を共有しグループで把握する。	○
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 地域型住宅グリーン化事業に参加した施工業者が利用した九州材をグループで収集し、取りまとめて需給を予測する。	○
c	①-1 畳の活用	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(1畳換算) 120枚	○
	①-2 和瓦の活用	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数 2500坪	○
	①-3 襖の活用	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 110枚	○
	①-4 障子の活用	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 今年度の使用予定枚数(3×6換算) 60枚	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 小国町の小国スギを使用。	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 小国スギを在庫しており、床材や壁材に使用し拡販している。	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 和風建築物が減りつつある中、改めて大工技術の大切さを見直す時代に到達したと思われる。大工需要と供給のバランスを整える。大工育成。	◎
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 南筑後、熊本県北部は朝晩の温度差が大きく、海や川が近く平均して湿度も高いので、調湿性のある断熱材・性能の良いサッシを利用している。	◎
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 「大工が建てる、人にやさしい家」をスローガンに掲げ大工育成に力を注ぎ、この地域が「大工の町」と称賛される景観作りを目指し、地元へ根ざした施工業者を増殖する。	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 調湿性のある九州産材のスギ材を加工した自然素材の床材・壁材を使用する。	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	国土交通省が中心となった「和のすまい推進関係省庁連絡会議」が作成した冊子「和の住まいのすすめ」を施工会社と住まい手に渡すことでの住まいの推進を図る。	◎
カ. その他			
【平成29年度対応方針】			
	東日本大震災の復興に資する取組	JBNと全国建設労働組合総連合の2団体で構成する、(一社)全国木造建設事業協会(略称:全木協)は、都道府県と応急仮設木造住宅建設に関する協定を現在までに25都道府県と締結している。災害が起こったときは、地場工務店・大工等の力を集結して災害復興にあたる。全木協の福岡県支部の全木協福岡県協会の一端を担う当会としては、連携体制の確立・応急仮設住宅建設実施訓練に取り組む。	○
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	JBNと全国建設労働組合総連合の2団体で構成する、(一社)全国木造建設事業協会(略称:全木協)は、都道府県と応急仮設木造住宅建設に関する協定を現在までに25都道府県と締結している。災害が起こったときは、地場工務店・大工等の力を集結して災害復興にあたる。全木協の福岡県支部の全木協福岡県協会の一端を担う当会としては、連携体制の確立・応急仮設住宅建設実施訓練に取り組む。当会の事務局は熊本と隣県であり、会員の中に活動拠点を熊本県の荒尾市や玉名市に置かれている工務店も多い。昨年の4月の熊本地震発生後にはJBNと当会で連携して、2回現地へ物資輸送を行っている。また益城町などの被災地域に、現在進行形で建築中の物件を持つ工務店もあり、今後も引き続き支援していく。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 人にやさしい家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 九州全域
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> 人にやさしい家を考える会	<small>(結成年)</small> 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	04-0176-0674	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
<p>キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。</p> <p>《認定低炭素住宅とゼロエネ住宅についての特徴》 グループとしての提案は、断熱性能を上げることを重視し、機械による設備機器を極力利用せずにエネルギー消費削減に徹する。</p>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。